

蜂刺されによる死亡災害を防止しましょう



蜂に刺されても軽症で済むケースも存在することから、蜂刺され防止のための取組は軽視される向きもありますが、適切な備えをしていない状況で蜂に刺された場合、重症化し、**最悪の場合は命を落とす危険性もあります。**

残念なことに、令和5年度には、神奈川県労働局管内で、**蜂刺されによる死亡災害が2件発生してしまいました。**

蜂刺されによる死亡災害防止には、

- ① **蜂刺されの可能性自体の低減**
- ② **刺された場合の重症化への備え**

の2つの対策が必要です。

蜂は4月から10月にかけて活動が活発になります。

以下のチェックリストに沿ってあらかじめ適切な備えを行い、蜂刺されによる死亡災害を防止しましょう。

対策例① 蜂刺されの可能性自体の低減

□ 蜂の巣の把握・撤去

- 作業開始前に蜂や蜂の巣の目撃情報の確認等により蜂の巣の有無を確認する。
- 蜂の巣の存在を確認した場合、駆除業者を手配する等して蜂の巣を撤去する。

□ 作業者の服装等の見直し

- 黒や紺等の明度の低い色の服を避け、白等の明度の高い色の服を着用させる。
- 黒髪を帽子、手ぬぐい等で覆う。
- 化粧品、整髪料、制汗剤等の使用を極力控えさせる。
- 肌の露出を可能な限り減らさせる。
- 防蜂網・防蜂手袋等の保護具を着用させる。
- 雨合羽のような蜂がつかまりにくい滑りの良い素材の服を着用させる。

□ 蜂の攻撃性を刺激する作業の見直し

- 蜂の巣がある可能性のある場所の近くで、60dB（自動車のエンジン音程度）以上の騒音を出す作業を可能な限り減らす。
- 蜂の巣がある可能性のある場所の近くで、化学肥料・除草剤・塗料等、薬品系の人工物の臭いを発する作業を可能な限り減らす。

対策例② 刺された場合の重症化への備え

□ アナフィラキシー補助治療剤の携行

- 労働者の過去の蜂刺されの経験の有無等を確認する。
- 発症の可能性のある労働者に、登録医師からアナフィラキシー補助治療剤の処方を受けるよう勧奨する。
- 作業者に当該アナフィラキシー補助治療剤の使用方法を教育し、これを携行させる。

□ 救急救命体制の確立

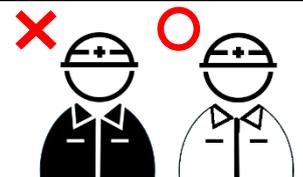
- 万が一の場合の緊急連絡体制を確立し、労働者に周知する。
- 抗ヒスタミン軟膏等の救急用具を準備し、万が一の場合の救急救命体制を明確化し、労働者に周知する。
- 作業場所の最寄りの病院の位置を確認し、労働者に周知する。

災害事例1

集合住宅敷地内の植栽剪定及び除草作業を行っていた造園作業員が、エンジン式トリマーを使用して低木の剪定作業を行っていた際に、当該低木に営巣していた蜂に刺された。けいれんが始まる等の症状の悪化が見られたため、救急車を要請して医療機関に搬送し療養させていたが、2週間後に死亡した。当該造園作業員は過去にも蜂刺されの経験があった。

災害事例2

ゴルフ場において除草剤散布作業を行っていた労働者が首の後ろを蜂に刺され、そのまま心肺停止状態になった。現場は山奥に所在し、救急車の到着に約30分を要した。約1時間半後に病院に搬送されるも、意識は戻らずそのまま死亡した。蜂の巣の場所は不明だが、蜂の目撃情報は作業開始前からあった。当該労働者は過去にも蜂に刺された経験があった。



服装は暗い色を避け、明るい色を採用する。



保護具の例 ※1



アナフィラキシー補助治療剤の例
マイランEPD合同会社製
「エピペン®」 ※2

※1 引用：
林業・木材製造業労働災害防止協会
ウェブサイト「蜂に注意」
URL：
<https://www.rinsaibou.or.jp/safety/bees.html>

※2 引用：
Viatris Inc.
ウェブサイト「エピペンについて」
URL：
<https://www.epipen.jp/about-epipen/photo.html>

アナフィラキシー補助治療剤について

蜂刺されの重症化を抑えるには、アナフィラキシー補助治療剤がきわめて効果的です。

蜂に刺された際には、皮ふ・口内・口唇等の腫れ、じんましん（皮ふ・粘膜症状）、ヒューヒューと鳴るような呼吸の著しい乱れ・激しくしゃみ・鼻水（呼吸器症状）、どうぎ・めまい・意識障害・血圧低下（循環器症状）が引き起こされます。重症化すると、呼吸困難や、血圧低下による心停止が引き起こされ、死に至ることがあります。

蜂刺されが重症化するのには、身体の免疫機能の過剰反応によるものであり、過去に蜂刺されの経験がある人には当該過剰反応が起こりやすくなります。**アナフィラキシー補助治療剤**は、身体の免疫機能の過剰反応を抑制し、アナフィラキシーショックの重症化を防ぎ、呼吸困難や心停止といった死に直結する症状にまで至らせない目的で使用されます。

アナフィラキシー補助治療剤を入手するためには、登録医師による処方を受ける必要があります。令和6年7月現在、本邦で広く用いられているアナフィラキシー補助治療剤として、マイランEPD合同会社製の「**エピペン®**」が挙げられます。

蜂刺され対策の始め方

蜂刺されのリスクは、農業、建設業、林業等、蜂が営巣している場所の近くで作業を行う多くの業種に存在しています。対策の要否の確認のためにも、まずは**リスクアセスメント**を実施し、自社の作業内容の中で、蜂刺されが起こる可能性のある作業を洗い出しましょう。その際、下記「**蜂の性質**」の記載等を参考に、蜂の生態や習性を正しく理解して洗い出しを行いましょう。

該当する作業がある場合は、表面の**対策例①、②**を講じて死亡災害発生のリスクを低減しましょう。



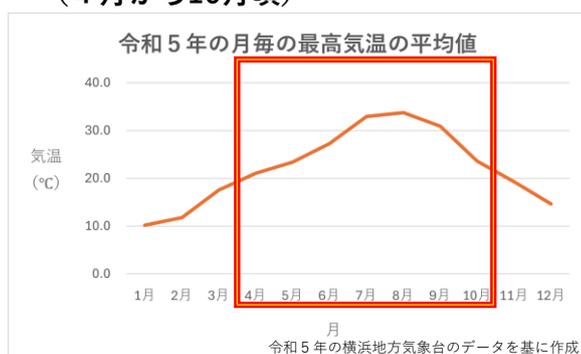
参考 職場の安全サイト
リスクアセスメントの
実施支援システム

蜂の性質

1 蜂の種類にかかわらず、アナフィラキシー症状発症の危険性はある。

スズメバチ等の大型の蜂だけでなく、アシナガバチやミツバチに刺された場合でも発症のリスクがあります。

2 気温25℃～30℃で活動が活発になる。 (4月から10月頃)



3 巣の近くにいる蜂が攻撃的である。

巣を守る蜂は人間の視線を知覚しており、最初のうちはアゴをカチカチと鳴らして威嚇し、それでも人間が巣から離れない場合に襲ってきます。巣から離れた蜂は人を襲わない傾向にあります。

4 木の枝、屋根裏や壁の中等の他、地中に営巣することもある。

巣があることに気づかず刺激すると、文字どおり蜂の巣を突いた騒ぎになり、複数の働き蜂に襲われます。

5 暗い色の服や持ち物は蜂の攻撃性を刺激しやすい。

(例) ・黒や紺等の明度の低い色の服
・黒髪
・カメラ等の黒い持ち物
・動物の毛皮等

6 薬品等の臭いは蜂の攻撃性を刺激しやすい。

蜂は嗅覚が鋭く、薬品等の臭いに敏感に反応し、襲ってくる。
(例) 化粧品、整髪料、制汗剤、化学肥料、除草剤、塗料等
また、薬品ではないが、汗等の人間の体臭にも反応して襲ってくる例もある。

7 騒音は蜂の攻撃性を刺激しやすい。

自動車のエンジン音程度(約60dB)以上の騒音は、蜂の攻撃性を刺激しやすい。
(例) ・草刈機の駆動音
・除草剤や農薬等の散布機の駆動音
・枝打ちの作業音

アナフィラキシーショックは蜂以外の昆虫でも発症のリスクがあります

蜂以外の昆虫毒のアレルギーとして、アリ(オオハリアリ、ヒアリ)刺傷によるアナフィラキシーショックの発症例、死亡例や、ムカデによる発症例も確認されています。過去にこれらの昆虫に噛まれた経験のある労働者には注意を促すとともに、必要な対策を講じましょう。



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省
Ministry of Health Labour and Welfare

神奈川県 相模原労働基準監督署